取扱説明書

JP



TC2290 NATIVE / TC2290-DT

Legendary Dynamic Delay Plug-in with Optional Hardware Desktop Controller and Signature Presets

TC ICON SERIES

2021-08-27, Rev. 3.0

tc electronic

JP

Table of Contents

重要な安全に関する注意事項 3
1. 序章 4
2. プラグインのインストール 4
3. TC2290 iLok ライセンスをアクティブ化する 5
4. 接続とセットアップ 5
5. プラグインとハードウェア制御 8
6. 手術 12
7. プリセット 15
8. ソフトウェアの更新 16
9. 仕様 17
10. シグナルフロー図 18

JP 安全にお使いいただくために

CAUTION
RISK OF ELECTRIC SHOCK!
DO NOT OPEN!
ATTENTION
RISQUE D'ÉLECTROCUTION !
NE PAS OUVRIR !

注意

感電の.恐れがありますので、カバーやその他の部品を取り外したり、開けたりしないでください。高品質なプロ用スピーカーケーブル（¼" TS 標準ケーブルおよびツイスト ロッキング プラグケーブル）を使用してください。

注意

火事および感電の危険を防ぐため、本装置を水分や湿気のあるところには設置しないで下さい。装置には決して水分がかからないように注意し、花瓶など水分を含んだものは、装置の上には置かないようにしてください。

注意

このマークが表示されている箇所には、内部に高圧電流が生じています。手を触れると感電の恐れがあります。

注意

取り扱いとお手入れの方法についての重要な説明が付属の取扱説明書に記載されています。ご使用の前に良くお読みください。

注意

1. 取扱説明書を通してご覧ください。

2. 取扱説明書を大切に保管してください。

3. 警告に従ってください。

4. 指示に従ってください。

5. 本機を水の近くで使用しないでください。

6. お手入れの際は常に乾燥した布巾を使ってください。

7. 本機は、取扱説明書の指示に従い、適切な換気を妨げない場所に設置してください。取扱説明書に従って設置してください。

8. 本機は、電気ヒーターや温風機器、ストーブ、調理台やアンプといった熱源から離して設置してください。

9. ニ極式プラグおよびアースタイプ(三芯) プラグの安全ピンは取り外さないでください。ニ極式プラグにはピンが二本ついており、そのうち一本はもう一方よりも幅が広くなっています。アースタイプの三芯プラグにはニ本のピンに加えてアース用のピンが一本ついています。これらの幅の広いピン、およびアースピンは、安全のためのものです。備え付けのプラグが、お使いのコンセントの形状と異なる場合は、電器技師に相談してコンセントの交換をして下さい。

10. 電源コードを踏みつけたり、挟んだりしないようご注意ください。電源コードやプラグ、コンセント及び製品との接続には十分にご注意ください。

11. すべての装置の接地（アース）が確保されていることを確認して下さい。



12. 電源タップや電源プラグは電源遮断機として利用されている場合には、これが直ぐに操作できるよう手元に設置して下さい。

13. 付属品は本機製造元が指定したもののみをお使いください。

14. カートスタンド、三脚、ブラケット、テーブルなどは、本機製造元が指定したもの、もしくは本機の付属品となるもののみをお使いください。カートを使用しての運搬の際は、器具の落下による怪我に十分ご注意ください。

15. 雷雨の場合、もしくは長期間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

16. 故障の際は当社指定のサービス技術者にお問い合わせください。電源コードもしくはプラグの損傷、液体の装置内への浸入、装置の上に物が落下した場合、雨や湿気に装置が晒されてしまった場合、正常に作動しない場合、もしくは装置を地面に落下させてしまった場合など、いかなる形であれ装置に損傷が加わった場合は、装置の修理・点検を受けてください。



17. 本製品に電源コードが付属されている場合、付属の電源コードは本製品以外ではご使用いただけません。電源コードは必ず本製品に付属された電源コードのみご使用ください。

18. ブックケースなどのような、閉じたスペースには設置しないでください。

19. 本機の上に点火した蝋燭などの裸火を置かないでください。

20. 電池廃棄の際には、環境へのご配慮をお願いします。電池は、かならず電池回収場所に廃棄してください。

21. 本装置は 45℃ 以下の温帯気候でご使用ください。

法的放棄

ここに含まれる記述、写真、意見の全体または一部に依拠して、いかなる人が損害を生じさせた場合にも、Music Tribe は一切の賠償責任を負いません。技術仕様、外観およびその他の情報は予告なく変更になる場合があります。商標はすべて、それぞれの所有者に帰属します。Midas、Klark Teknik、Lab Gruppen、Lake、Tannoy、Turbosound、TC Electronic、TC Helicon、Behringer、Bugera、Aston Microphones および Coolaudio は Music Tribe Global Brands Ltd. の商標または登録商標です。© Music Tribe Global Brands Ltd. 2021 無断転用禁止。

限定保証

適用される保証条件と Music Tribe の限定保証に関する概要については、オンライン上 musictribe.com/warranty にて詳細をご確認ください。

JP

1. 序章

TC Electronic TC2290 遅延ユニットの取り付け方法と使用方法については、このマニュアルをお読みください。このマニュアルは、TC Electronic Web サイトから PDF 形式でのみ入手できます。このマニュアルを最大限に活用するには、最初から最後まで読んでください。そうしないと、重要な情報を見逃してしまう可能性があります。

このマニュアルの最新バージョンをダウンロードするには、次の Web ページにアクセスしてください

www.tcelectronic.com/Categories/c/Tcelectronic/Downloads

マニュアルを読んだ後も TC Electronic 製品について質問がある場合は、TC サポートに連絡してください。

www.tcelectronic.com/brand/tcelectronic/support

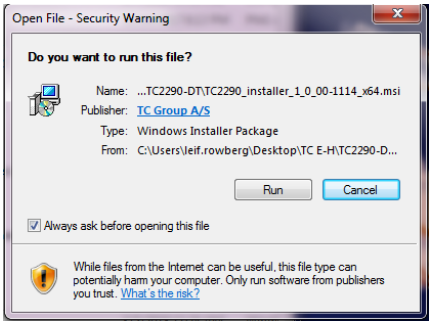
2. プラグインのインストール

www.tcelectronic.com/tc2290-dt/support/にアクセスして、インストーラーファイルをダウンロードします。プラグインには、iLokライセンス (NATIVE バージョンの購入時に提供) または TC2290 DT デスクトップコントローラー (DT デスクトップコントローラーバージョンの購入時に提供) または iLok トライアルライセンスのいずれかが必要です。すべてのパラメーターはプラグインで使用でき、ほとんどは DT デスクトップコントローラーで使用できます。

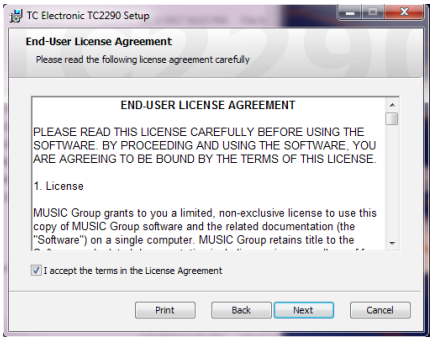
Mac または PC のバージョンを選択し、ファイルをハードドライブに保存します。TC2290DT デスクトップコントローラーの最新のファームウェアもソフトウェアに含まれます。

2.1 PC へのインストール

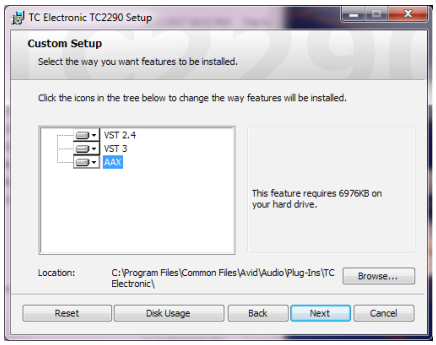
zip ファイルを開き、実行可能ファイルをダブルクリックします。セキュリティ警告が表示された場合は、[実行] をクリックします。.



使用許諾契約に同意し、[次へ] をクリックします。



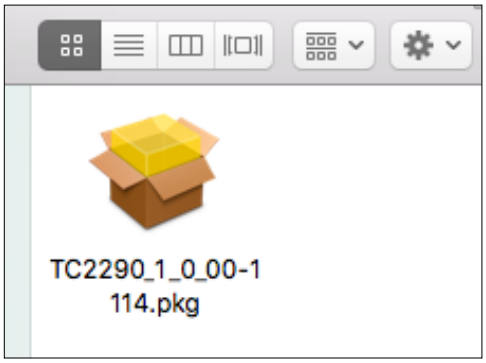
インストールする VST および/または AAX コンポーネントを選択します。Pro Tools は AAX を使用し、他のほとんどの DAW プログラムは VST を使用します。インストーラーはファイルを保存するためのデフォルトの場所を提供しますが、「参照」ボタンをクリックして別の場所を選択できます



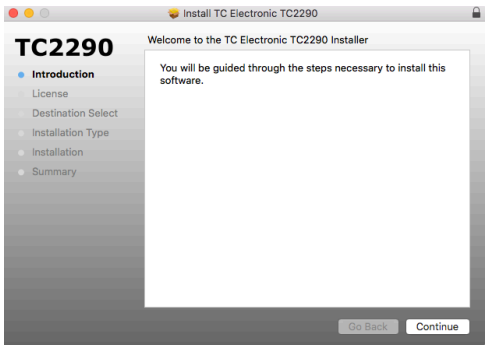
「次へ」をクリックしてインストールを開始します。インストールが完了したら、[完了] をクリックします

2.2 Mac へのインストール

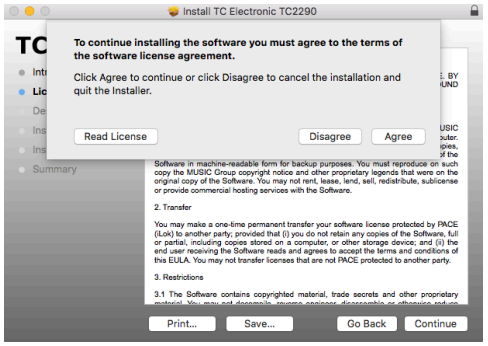
zip フォルダーを開き、インストーラーアイコンをダブルクリックします。



プロンプトに従ってインストールを開始します。



[続行]をクリックして、使用許諾契約に同意します。



インストール用にデフォルトの場所が選択されますが、別のフォルダーを手動で選択することもできます。管理者権限がある場合は、インストールを開始する前にパスワードを入力する必要があります。

JP

3. TC2290 iLok ライセンスをアクティブ化する

3.1 ネイティブバージョンを購入した場合のアクティベーション

ステップ 1: iLok をインストールする

最初のステップは、 www.iLok.com で iLok ユーザーアカウントを作成し、iLok を初めて使用する場合は、コンピューターにPACE iLok License Managerをインストールすることです。

ステップ 2: アクティベーション

受信したメール (ネイティブバージョンを購入する場合) には、個人のアクティベーションコードが記載されています。ソフトウェアをアクティベートするには、PACE iLok License Managerのアクティベーションコードの引き換え機能を使用してください。



3.2 無料のデモライセンスを取得する

この手間のかからないオファーを利用して、購入する前にプラグインを試してみてください。

- 14 日間の試用期間
- 完全に機能
- 機能制限なし
- 物理的な iLok キーは必要ありません

ステップ1: iLok をインストールする

最初のステップは、 www.iLok.com で無料のiLok ユーザーアカウントを作成し、iLok を初めて使用する場合は、コンピューターに PACE iLok License Manager をインストールすることです。

ステップ2: 無料ライセンスを取得する

http://www.tcelectronic.com/brand/tcelectronic/free-trial-TC2290-native にアクセスし、iLok ユーザー ID を入力します。.

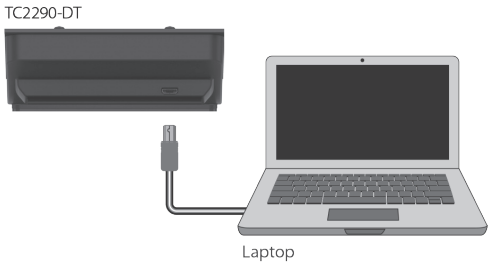
ステップ 3: アクティベーション

PACE iLok License Manager でソフトウェアをアクティブ化します。

4. 接続とセットアップ

4.1 TC2290-DT デスクトップコントローラーの接続 (DT デスクトップコントローラーバージョンを購入した場合)

デスクトップコントローラーを起動して実行するのは、これ以上簡単なことではありません。付属の USB ケーブルをユニットの背面マイクロ USB ポートに接続し、もう一方の端をコンピューターの空き USB ポートに接続します。デスクトップコントローラーはバスパワーで動作するため、他の電源ケーブルは必要ありません。また、追加のドライバーを手動でインストールする必要もありません。



接続に成功すると、デスクトップコントローラーが点灯します。これで、プラグインを DAW のチャンネルに適用して、エフェクトの使用を開始できます。このプロセスはソフトウェアによって若干異なる場合がありますが、通常は次の手順が必要です

- エフェクトを追加する DAW のチャンネルまたはバスを選択します。ミキサーページにアクセスすると、エフェクトスロット専用のセクションが表示されます。
- エフェクトタイプのリストから選択できるメニューを開きます。これには、DAW に含まれている多くのストックプラグインが含まれている可能性があります。一般的な VST / AU / AAX オプションを表示するためのサブメニューがあるはずです。
- プラグインは、専用の TC Electronic フォルダーにある可能性があります。TC2290 を選択すると、シグナルチェーンに追加されます。

TC2290 が含まれているエフェクトスロットをダブルクリックして、プラグイン UIを表示します。下部に緑色のリンクアイコンがあり、プラグインとデスクトップコントローラー間の接続が成功したことを示すテキストが表示されます。

注: DT デスクトップコントローラーバージョンを購入した場合も、iLok License Manager をコンピューターにインストールする必要があります。この場合、iLok アカウントを作成したり、ライセンスをアクティブ化したりする必要はありません

4.2 TC2290 の操作

プラグインをインストールし、iLok ライセンスをアクティブ化するか、USB 経由で TC2290-DT デスクトップコントローラーを接続した後、プラグインをトラックに挿入し始めることができます。

効果の調整は 2 つの方法で行われます。プラグインのユーザーインターフェイスを使用するか、物理的なデスクトップコントローラーを使用します。



JP

4.3 挿入 vs 補助効果

TC2290 は、上記のように、単一チャンネルのエフェクトスロットに直接挿入できます。これにより、信号全体がエフェクトを通過します。この場合、直接入力信号は、静的または変調のいずれかでパンされる前にモノラルになることに注意してください。これは、PAN / DYN セクションの DIRECT ボタンが押されているときに発生します。

ただし、TC2290 を補助バスに追加することもでき、1 つまたは複数のチャンネルが信号の一部をこのバスに送信してエフェクトで処理することができます。エフェクトの出力は、残りのトラックとミックスバックされます。これは、TC2290 がトラックの信号全体に影響を与えないという点で挿入効果とは異なります。そのため、PAN / DYN セクションの MOD ボタンを使用して直接信号を変調することはできません。この設定では、 Mix パラメーターを常に 100% に設定する必要があります。

4.4 モノラル/ステレオ操作

TC2290 は、モノラルトラックのモノラルインスタンスとステレオトラックのステレオインスタンスの両方として使用できます。特定の DAW によっては、モノラルイン/ステレオアウトも利用できる場合があります。

モノアウトインスタンスの場合、出力信号は左側のプラグインチャンネルのみを出力することによって作成されます。この場合、パンは使用しないでください。

4.5 移動期間とモジュール接続 (DT バージョンを購入した場合):

無料の iLok トライアルライセンスをリクエストすると、購入したデスクトップコントローラーを購入または受け取る前にプラグインを試すことができます。これにより、14 日間すべての機能が有効になります。

購入したデスクトップコントローラーを受け取って接続すると、プラグインまたはデスクトップコントローラーを介して全機能を使用するために iLok ライセンスは不要になります。

60 日間の旅行期間

デスクトップコントローラーが切断されている場合、完全なプラグイン機能が 60 日間使用可能になり、その後、プラグインはハードウェアユニットへの再接続を要求します。ハードウェアユニットが再接続されると、すべてのコントロールが使用可能になります。

Download and install the plug-in and connect the module
Full Fuctionality



Link to product page with store finder

Disconnect Module

Processing, controls available for 60 days countdown

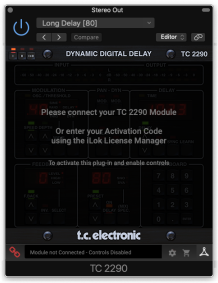


60 day count down

60 days...

→

Processing Only



Reconnect Module

Full Fuctionality Restored



JP

4.6 一次および二次制御

プラグインをインストールして iLok ライセンスをアクティブ化するか、USB 経由で TC2290 を接続したら、トラックにエフェクトを追加し始めることができます。



プラグインは 2 つのセクションに分かれており、左上の「I+II」ボタンを選択すると両方が表示されます。左側のセクションはハードウェアユニットと同じであり、プライマリパラメータと見なすことができます。これらには、遅延時間やフィードバックなどの一般的な項目が含まれます。

右側には、セカンダリパラメータが含まれています。二次パラメータは、元の 2290 では「SPECKEYS」（特殊キー）と呼ばれていたものです。これらのパラメータは、SPECKEYS を使用してハードウェアユニットから呼び出すことができます。

画面上のプラグインのサイズを小さくするには、プラグインの左上にある「I」または「II」を選択します。「I」はプラグインの左側のセクションのみを表示し、「II」は右側のセクションを表示します。「II」の設定は、ハードウェアユニットを使用する場合の補足設定になります。

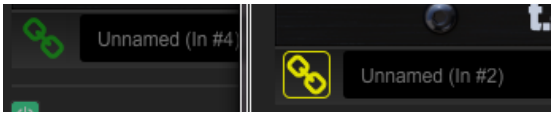
4.7 ハードウェアユニットへの接続ステータス

TC Icon ファミリはすべて同じ方法を使用して、プラグインとハードウェアユニット間の接続ステータスを表示します。

プラグインウィンドウの左下に接続状態が表示されます。接続が成功すると、緑色のチェーンアイコンで示されます。ネイティブバージョンのみを使用する場合、このチェーンアイコンは灰色のままになります。



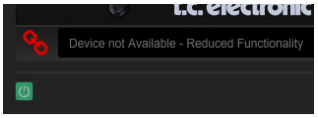
「接続されていません」ステータスになる 3 の条件があります。プラグインの別のインスタンスが別のトラックにすでに存在する場合、チェーンアイコンは黄色の枠で黄色に表示され、テキストボックスにプラグインが現在アクティブになっている場所が通知されます。チェーンアイコンをクリックして、ハードウェアユニットを新しいプラグインの場所に接続します。TC2290 ユニットとプラグインの間の接続中に黄色のアイコンが表示され、「接続中...」というテキストが表示される場合があります。



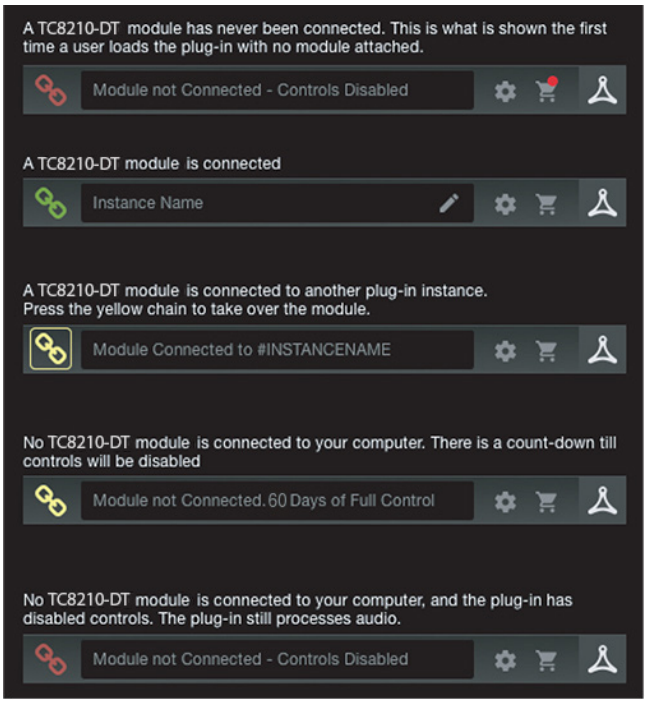
ハードウェアユニットがコンピューターから切断されているが、カウントダウンの期限がまだ切れていない場合、黄色の枠のない黄色のチェーンアイコンが表示されます。詳細については、「移動期間とモジュール接続」セクションを参照してください。



他のすべての「接続されていない」状態は、赤いチェーンアイコンで示されます。これは、USB ケーブルが切断されている場合、 TC2290 接続が中断されている場合、またはその他の問題が発生した場合に発生する可能性があります



接続ステータスの可能性を要約すると、次のようになります



ほとんどの DAW は、プラグインをあるトラッ /バスから別のトラック/バスに移動またはドラッグする機能を提供し、TC2290 もこれをサポートしています。

ほとんどの DAW は、プラグインのオン/オフスイッチも備えており、プラグインウィンドウやトラック自体の内部からアクセスできます。プラグインをミュートすると、エフェクトが聞こえなくなりますが、ハードウェアユニットを使用するために接続がシャットダウンされることはありません。

JP

5. プラグインとハードウェア制御

TC2290 の制御は、プラグインで実行するか、オプションでハードウェアユニットを使用して実行します (DT バージョンを購入した場合)。 2290 のすべての主要パラメーターには、DT デスクトップコントローラーからもアクセスできます。これらには、ディレイタイム、モジュレーション、プリセットの変更、ミックス (「スペシャル」コントロールによる) など、エフェクトの主要部分を制御するパラメーターが含まれます。あまり必要とされない二次パラメータは、右側のセクションのプラグインウィンドウで処理されます。これらは、モジュレーションスレッショルド、サブディビジョン、プリセットセーブなどのパラメーターです。

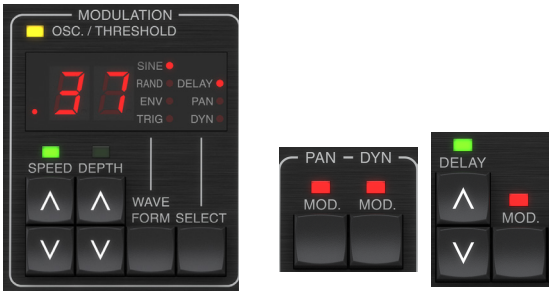
5.1 プライマリプラグインとハードウェア制御

メートル



メーターセクションは、着信および発信オーディオ信号に関するフィードバックを提供します。入力レベルは、プラグインに入るときにオーディオを表示し、入力レベルコントロールやその他のパラメーターの調整の影響を受けません。出力メーターは、エフェクトの結果と出力レベルコントロールパラメーターの影響を受けます。

変調



このセクションでは、モジュレーションエフェクトのパラメーターを制御します。モジュレーションは、実際には PAN、DYN 、DELAY セクションにある MOD ボタンと連動していることに注意してください。

SELECT ボタンを押すと、DELAY、PAN、DYNAMICS のパラメーターセットがスクロールし、基本的にこのセクションの他のボタンのフォーカスが選択されます。モジュレーションエフェクトのタイプは次のとおりです。

- ディレイタイムのモジュレーション–コーラス、フランジャー、ピッチ、オートダブリング。
- パン位置変調–直接信号、遅延信号、またはその両方の自動パン。
- ダイナミックモジュレーション–トレモロ、ディレイコンプレッサー/エクスパンダー、ダッキング、ゲーティング。

これらの各パラメータセットは、次の値で構成されています。

WAVEFORM – 正弦波 (SINE)、ランダム波 (RAND)、入力信号エンベロープ制御 (ENV)、または入力レベルトリガー (TRIG) の間の変調波形を決定します。変調ターゲットは、ENV と TRIG の機能を決定します。

SPEED – UPまたは DOWN を1回押すと、SPEED パラメーターにフォーカスが移動し、さらに押すと、値が1 ステップ移動します。SPEED パラメーターは Hz (サイクル/秒) で表示されます。モジュレーションターゲットに応じて、ENVまたは TRIG 波形が選択されている場合、パラメーターは速度を効果なしから最大効果まで制御します。「1」の設定は1秒のランプ時間を意味し、"5" の設定は ⅕ 秒のランプ時間を意味します。

DEPTH – UP または DOWN を 1回押すと、DEPTH パラメーターにフォーカスが移動し、さらに押すと、値が 1 ステップ移動します。DEPTH 値は、最大変調のパーセンテージで表示されます。

SPEED または DEPTH 矢印キーを押すと、最初にそのパラメーターにフォーカスが移動します。これにより、特定の値を KEYBOARD に入力し、次に ENTER キーを入力することもできます。いずれかのパラメータがアクティブな場合、緑色の LED が上で点滅し、ディスプレイに現在の値が表示されます。

このセクションの左上隅にある黄色の OSC / THRESHOLD LED は、周期的変調 (SINE、RANDOM) を使用する場合の変調速度を示し、入力レベルが ENV または TRIG 効果のしきい値を超えたことを示します。

PAN/DYN



PAN ラベルと DYN ラベルの下にある MOD ボタンのいずれかを押して、それぞれこれらの機能を使用します。各ボタンの上の赤い LED は、オン/オフのステータスを示します。各エフェクトのパラメーターは、MODULATION セクションで調整されます。

DELAY / DIRECT ボタンは、PAN エフェクトを遅延信号のみに適用するか、直接信号のみに適用するか、両方に適用するか、どちらにも適用しないかを決定します。これはプラグインに設定された静的パンにも当てはまるため、DELAY も DIRECT も点灯していない場合、パンはまったく行われません。

DELAY も DIRECT も点灯していない場合、遅延信号は右チャンネルで位相反転されます。これは、幅広いコーラス/フランジャーエフェクトを作成するのに適していますが、ディレイエフェクトには望ましくない場合があります。これを回避するには、プラグインの PAN を 50 に設定し、PAN MOD を解除して、PAN DELAY (DIRECT ではない) を有効にします。これにより、同じ結果から右遅延信号の逆位相を差し引いたものが得られます。

DIRECT が点灯しているときはいつでも、直接信号は最初にモノラルに合計され、次にパンされることに注意してください。DIRECT が点灯していない場合、ダイレクト信号はステレオになります (プラグインがステレオインスタンスの場合)。

REVERSE ボタンを押すと、選択したダイナミックエフェクトが逆に機能します。波形を SINE または RAND に設定すると、トレモロ効果が得られ、音量の増減が変調されます。REVERSE ボタンをアクティブにすると、ダイレクトボリュームが抑制されているときにディレイボリュームを強化するモジュレーションが作成されます。その逆も同様です。

波形を ENV または TRIG に設定すると、REVERSE ボタンは通常の圧縮/ダッキング効果を拡張/ゲーティング効果に変更します。

JP

遅れ



このセクションの主な機能は、遅延時間を制御することです。ディスプレイの上の黄色の LED が現在のテンポに合わせて点滅し、正確な時刻がミリ秒単位で表示されます。遅延時間を調整する方法はいくつかあります。

- 上/下矢印の使用
- キーボードの使用 (上/下矢印を 1 回押した後)
- 希望のテンポに合わせて LEARN ボタンを押す
- SYNC ボタンを押してテンポを DAW テンポに同期させる

上矢印キーまたは下矢印キーを 1 回押すと、ディレイテンポの設定にフォーカスが移動します。緑色の LED が点滅し、テンポを調整できるようになります。上または下を押すと、テンポが 1 桁ずつ変化します。ボタンを押し続けると、パラメーターをすばやくスクロールできます。

ただし、緑色の LED が点滅したら、KEYBOARD を使用して手動で遅延時間を入力し、続いて ENTER キーを入力することもできます。KEYBOARD を使用して遅延時間を入力する場合は、ドットを押すことで 1 ミリ秒未満の値を含む 10 進数の値を入力できることに注意してください。たとえば、8.5 ミリ秒の遅延時間は [8] [ドット] [5] [ENTER] を押すことでダイヤルできます。

希望のテンポの正確なテンポ測定値がわからない場合は、リズムで LEARN ボタンをタップすることでかなり近づくことができます。1 回目と 2 回目のプレスの間の時間が新しいテンポとして使用されます。

TC2290 は、DAW で現在設定されているテンポに従うこともできます。これを有効にするには、 SYNC ボタンを押します。有効にすると、UP ボタンと DOWN ボタンでビートの細分化が変更されます。

遅延信号の変調を有効にするには、MOD ボタンを押します。詳細については、この章の「変調」セクションと第 5 章を参照してください。

フィードバック



このセクションは、主に遅延の繰り返し回数を制御しますが、他の機能にも影響します。

SELECT ボタンを押すと、このセクションの 3 つの調整可能なパラメーター (フィードバック LEVEL、HIGH カット、および LOW カットフィルター) がスクロールします。ディスプレイには、現在の選択とそのパラメータの値が表示されます。

上矢印ボタンまたは下矢印ボタンを押すと、選択したパラメータの調整がアクティブになり、緑色の LED が点滅します。さらに押すと、値が 1 ステップ変化するか、ボタンを押したままにするとすばやくスクロールします。緑色の LED が点滅しているので、KEYBOARD に正確な値を入力してから、ENTER ボタンを押すことができます。3 つのパラメーターの可能な値は次のとおりです

- フィードバック – 0-99%
- ハイカット – 2、4、8、33 kHz (33 kHz =オフ)
- ローカット – 0、0.1、0.2、0.4 kHz (0 =オフ、0.1 = 100 Hz など)

INV ボタンを押すと、フィードバック信号が反転します。これはエコー効果では目立たない場合がありますが、フランジャーなどのモジュレーションに適用するとより顕著になります。

プリセット/スペック



DELAY ON ボタンを押すと、赤い LED で示される遅延効果のオンとオフが切り替わります。ただし、このスイッチをオフにした後も、パン効果とともに直接信号が聞こえます。静的パン位置 (プラグインの PAN で設定) は、スペックキー 26 (MUTE) が0 (IN) に設定されているときに DELAYON が点灯していない場合にのみ使用されることに注意してください。それ以外の場合 (仕様 26 がゼロ以外)、直接パン位置は中央です。

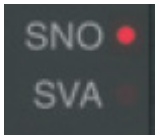
上矢印または下矢印を 1 回押すと、プリセットが選択され、プリセットを 1 つずつスクロールできます。または、特定のプリセットを KEYBOARD に入力してから、ENTER ボタンを押すこともできます。詳細については、第 6 章を参照してください。

SPEC (特殊) ボタンを使用すると、プラグインウィンドウでのみアクセスできる一部のパラメーターを制御できます。SPEC ボタンを押すと、特別番号 (SNO) と特別値 (SVA) にアクセスします。特別な番号はキーボードでのみ入力でき、その後に ENTER ボタンが続きますが、特別な値はキーボードまたはプリセットの矢印キーで入力できます。次のグラフは、制御可能な使用可能なパラメーターを示しています。

スペシャルナンバー	パラメータ	可能な値
1	入力レベル	0-99 (オフ– 0 dB)
2	遅延ミックス (デフォルト)	0～99%
3	出力レベル	0-99 (オフ– 0 dB)
4	パン	0-99
5	遅延の反転	0 (オフ)、1 (オン)
6	DAW 同期サブディビジョン	0-6 (64番目の音符–全音符)
7	DAW 同期モード	0 (ストレート)、1 (ドット)、2 (トリプレット)
8	ディープモッドを遅らせる	0 (オフ)、1 (オン)
9	遅延 Mod の反転	0 (オフ)、1 (オン)
10	遅延 Mod しきい値	1-9
11	パンモッドしきい値	1-9
12	ダイナミックディレイボリューム	1-9
13	動的フィードバック	1-9
26	ミュート方法	0 (入力)、1 (出力)、2 (両方)

JP

DELAY MIX は、ユーザーが定期的にアクセスする必要がある最も一般的なプラグインパラメーターである可能性が高いことを知っており、これはデフォルトの特別番号としてプログラムされています。SPEC ボタンを押すとすぐに Special # 2 (DELAY MIX) が SNO エントリとして表示され、SPEC ボタンをもう一度押すとフォーカスを DELAY MIX 値 (SVA) に切り替えることができます。 矢印キーまたは KEYBOARD を使用して、目的の値を入力します。もう一度 SPEC を押すと、通常のプリセット選択状態に戻ります。



DELAY MIX 以外の特別な番号にアクセスするには、SNO が赤いLED で強調表示されるまで SPEC ボタンを押します。KEYBOARD で目的の特別な番号をダイヤルし、Enter キーを押すと、 SPEC フォーカスが特別な値 (SVA) に自動的に切り替わります。上/下矢印またはキーボードを使用して値をダイヤルします

キーボード



KEYBOARD セクションは、矢印ボタンでスクロールする代わりに、特定の値またはプリセットを入力するために使用されます。通常、特定の値を入力する場合、KEYBOARD を有効にするには、そのパラメーターセクションに関連付けられている緑色の LED が点滅している必要があります。値を選択したら、ENTER ボタンを押して確認します。

5.2 プラグインコントロール-二次パラメータ

入力



クリックして上下にドラッグし、入力レベルを 0 から 99 に調整します。または、数字をダブルクリックして手動で値を入力します。0 の設定は -∞、1 の設定は -96 dB です。レベルは、低い設定では 3 dB の増分で増加し、-40 dB を超えると 0.5 dB の増分で増加します。

遅延オン



MIX パラメーターをクリックしてドラッグし、直接信号と遅延信号のバランスを調整します。

MUTE モードパラメータの右側をクリックして、ミューティングが入力信号または出力信号、あるいはその両方に影響を与えるかどうかを選択します。入力をミュートすると、エフェクトがバイパスされた後、エコーテールが自然にフェードします。

出力



クリックして上下にドラッグし、出力レベルを 0 から 99 に調整します。0の設定は -∞、1 の設定は -96 dB です。レベルは、低い設定では 3 dB の増分で増加し、-40 dB を超えると 0.5 dB の増分で増加します。

PAN パラメータをクリックしてドラッグし、信号のパン位置を調整します。パンは、ハードウェアユニットの PAN セクションにある DELAY / DIRECT ボタンで選択された信号にのみ適用されます。50 に設定すると、直接信号と遅延信号の両方が中央に配置されます。0 に設定すると、直接信号が右に強く、遅延が左に強くなります。99 に設定すると、直接信号が左に強く、遅延信号が右に強くなります。

INV DLY ボタンをアクティブにすると、遅延信号の出力が位相反転します。

ロック記号



一部のパラメーターは、新しいプリセットが選択されたときに呼び出されないようにロックすることができます。ロックされたパラメーターは、どのプリセットを呼び出しても、常にその値を保持します。

使用の良い例は、MIX パラメーターと一緒に使用することです。

プラグインで提供されるデフォルトのプリセットは、通常、エフェクトがトラックに挿入されることを意図して作成されます (挿入エフェクトとして)。そのプリセットで機能する MIX 値が選択されています。

ただし、TC2290 をセンド/パラレルエフェクトとして使用する場合は、通常、MIX パラメーターを 100% に設定する必要があります。MIX を 100% に設定した後、ロック機能を使用して、別のプリセットをロードしても 100% のままであることを確認します。

DAW SYNC



JP

DAW SYNC の選択がアクティブな場合 (ユニットの SYNC ボタンを押すことにより)、いくつかのパラメーターを調整して、遅延と DAW テンポの関係を制御できます。

遅延細分割 (SUBDIV) は、1/64 音符から全音符までの任意の場所に設定できます。これは、ユニットの DELAY セクションにある矢印ボタンを使用して調整することもできることに注意してください。

モード設定を調整することにより、細分化をストレートタイム、ドット、またはトリプレットフィールで聞くこともできます。

遅延 MOD



INV DLY MODボタンを押すと、フランジャーのスイープ開始とエンベロープのピッチシフト方向が反転します。これは、Delay Mod Waveforms ENV および TRIG にのみ適用されます。

ボタンを押して DEEPMOD を作動させます。 DEEP MOD は、「黄金比」と呼ばれる自動変調深度マッピングを無効にします。これにより、ワイルドピッチシフトを使用してより深いモジュレーションを行うことが可能になりますが、制御できなくなります。

しきい値



これらの 4 つの項目はすべて、それぞれのパラメーターに対して 9 つのしきい値設定を提供します。 各パラメーターの範囲は 1～9 です。

DLY MOD –ENV および TRIG 波形を遅延させます。

PAN MOD –ENV および TRIG 波形をパンします。

DYN DLY VOL – DYN モジュレーションが ENV または TRIG の場合、遅延 (および ENV REVERSE の場合はダイレクト) 信号のボリュームモジュレーションのしきい値を決定します。

DYN FB – DYN 変調波形 TRIG が選択されている場合 (ENVではない) のフィードバックレベルの変調のしきい値を決定します。

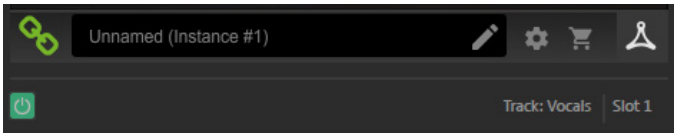
これらは、エンベロープ (ENV) およびトリガー (TRIG) 変調フォームに関連付けられたしきい値を設定します。値が大きいほど、同じ変調効果を得るにはより高い入力信号が必要です。 遅延、パン、ダイナミックのしきい値は 3 dB ステップで調整できます。 OSC./THRESHOLD LED は現在の動作状態を示しているため、しきい値を設定するためのヘルプとして使用できます。

プリセット



PRESET セクションを使用して、プリセットを呼び出して保存し、お気に入りとして割り当てます。 詳細については、第 6 章を参照してください。

下部セクション



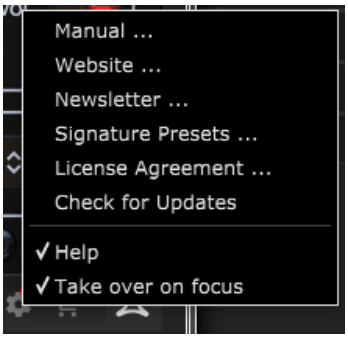
プラグインウィンドウの下部には、接続ステータスとプラグインインスタンス名が表示され、いくつかのオプションを使用できます。

緑のチェーンアイコンは、ハードウェアユニットとプラグインが正常に接続されたことを示します。接続の問題は、黄色または赤のアイコンで示されます。詳細については、第 3 章を参照してください。

プラグインインスタンスの現在の名前が中央のフィールドに表示されます。DAW がプラグインインスタンスが挿入されているトラックの名前を提供できる場合、プラグインインスタンスはトラック名にちなんで名前が付けられます。鉛筆アイコンをクリックすると、インスタンスの名前を変更できます。

ハードウェアユニットをコンピュータに接続せずにプラグインをインストールすると、ショッピングカートアイコンに赤い点が表示されます。これにより、TC2290 ユニットの購入に関する詳細情報にリンクされます。プラグインが接続されたハードウェアユニットを検出すると、赤い点が消えます。

設定アイコンは、いくつかのリンクとオプションを含むメニューにアクセスします。このユーザーマニュアルは、 TC Electronic Web サイトへのリンク、関連ニュース、追加の署名アーティストプリセット、およびユーザーライセンス契約とともに利用できます。 設定アイコンの上に赤い点が表示されている場合は、プラグインまたはファームウェアの新しいバージョンが利用可能である可能性があります。「アップデートの確認」をクリックして、新しいファイルをダウンロードしてインストールします。 詳細については、第7 章を参照してください。



「ヘルプ」オプションを選択した状態で、プラグインウィンドウの特定の項目にマウスを合わせると、パラメーターの機能と特殊キー番号 (該当する場合) の簡単な説明が表示されます。

[フォーカスを引き継ぐ] オプションを選択すると、現在表示されているプラグインインスタンスが、フォーカスが移されるとすぐに物理ハードウェアユニットの制御を引き継ぎます。

また、プラグインの新しいインスタンスがトラックまたはバスに挿入されると、そのインスタンスがすぐに引き継ぎます。

JP

6. 手術

この章では、特定のエフェクトの作成の詳細と、各パラメーターの調整方法について説明します。プラグインをチャネルまたはバスに挿入し、オプションで DT デスクトップコントローラーを接続すると、TC2290 の機能の実験を開始する準備が整います。

ハードウェアユニットの PRESET / SPEC セクションで、DELAY ON ボタンがアクティブ (LED が点灯) になっていることを確認します。重要なエフェクトパラメータのほとんどはハードウェアユニットでアクセスされるため、ここで注目します。

6.1 遅延パラメータ

TC2290 は何よりもまず遅延ユニットであるため、次の 3 つの主要なパラメーターから始めることができます。

- 遅延時間–これはエコーの速度を制御します。
- フィードバック–これは聞こえるエコーの数を制御します。
- ミックス–これは遅延エコーと直接信号の間のボリュームバランスを調整します。

遅延時間

ディレイを使用するデフォルトのプリセット (たとえば # 80) を選択すると、 DELAY ディスプレイの上にある黄色の TIME LED が現在のテンポに合わせて点滅し、正確な時間がミリ秒単位で表示されます。



遅延時間を調整する方法はいくつかあります

- 上/下矢印の使用
- キーボードの使用 (上/下矢印を 1回押した後)
- 希望のテンポに合わせて LEARN ボタンを押す
- SYNC ボタンを押してテンポを現在の DAW テンポに同期させる

上矢印キーまたは下矢印キーを 1 回押すと、ディレイテンポの設定にフォーカスが移動します。これを行うと、緑色の LED が点滅し、テンポを手動で調整できるようになったことを示します。



上または下を押すと、テンポが 1 桁ずつ変化します。ボタンを押し続けると、パラメーターをすばやくスクロールできます。ただし、緑色の LED が点滅したら、KEYBOARDテンキーを使用して手動で遅延時間を入力し、続いて ENTER キーを入力することもできます。



希望のテンポの正確なテンポ測定値がわからない場合は、リズムで LEARN ボタンをタップすることでかなり近づくことができます。1 回目と 2 回目のプレスの間の時間が新しいテンポとして使用されます。ディスプレイで、最初に押すと、数値が 0 から始まり、非常に速く上昇することがわかります (これらは結局ミリ秒です) 。これを数回行うと、毎回わずかに異なる結果が得られることに気付く場合があります。そのため、矢印ボタンを使用して手動でテンポを微調整する必要がある場合があります。

TC2290 は、DAW で現在設定されているテンポに従うこともできます。これを有効にするには、SYNC ボタンを押します。DAW のテンポが 120 BPM に設定されているとしましょう。これは、新しいプロジェクト/セッションのデフォルト設定になる傾向があります。



SYNC ボタンを押すと、TC2290 はテンポをミリ秒 (250) に変換します。

SYNC を有効にすると、UP ボタンと DOWN ボタンでビートの細分化が変更されます。サブディビジョンは現在、プラグインウィンドウの DAW SYNC セクションで 8 分音符に設定されています。これにより、120 BPM で 250 ミリ秒が得られます。



これは、ハードウェアユニットの DELAY セクションの UP ボタンを押すか、プラグインウィンドウの DAW SYNC セクションで変更することにより、四分音符に変更できます。一方に変更を加えると、もう一方も変更されます。サブディビジョンを四分音符に変更すると、500 ミリ秒の遅延時間が得られます。



DAW SYNC を有効にしても、LEARN ボタンでテンポを設定できます。 これが行われると、 TC2290 は DAW 同期テンポ内で最も近いサブディビジョンとモード (ストレート、ドット、トリプル) にグリッドし、それに応じて遅延時間を設定します

フィードバック

フィードバックは、エフェクトによって作成されるエコーの数を制御します。



LEVEL の横の LED が点灯するまで SELECT ボタンを押します。これにより、ハイカットフィルターやローカットフィルターではなく、フィードバックパラメーターを調整することができます。

上矢印ボタンまたは下矢印ボタンを押すと、このセクションの緑色の LED が点滅します。これで、 UP / DOWN ボタンを押すか押し続けるか、KEYBOARD に続けて ENTER キーを押して値を入力することにより、フィードバックパラメータを調整できます。

JP

ミックス

基本的な遅延設定を調整するための最後のパラメーターは、エコーと直接信号の間の MIX です。このパラメーターにアクセスするには、SPEC を 2 回押し、上/下矢印を使用して MIX を設定します。



または、プラグイン UI を使用して MIX 設定を調整することもできます。



プラグインをチャンネルのインサートとして使用する場合は、濁ったサウンドになるのを避けるために、50% 未満の設定が必要になる可能性があります。ただし、プラグインを送信/補助エフェクトとして使用する場合は、MIX を 100% に設定してください

6.2 変調効果

TC2290 には、次の 3 種類のモジュレーションエフェクトがあります。

- ディレイタイムモジュレーション–コーラス、フランジャー、ピッチモジュレーション、オートダブリングエフェクト。
- ダイナミックモジュレーション–トレモロ、コンプレス/エクスパンド、ダッキング/ゲーティングエフェクト。
- パン位置の変調–自動パン効果。

これらの各エフェクトには、独自のMODオン/オフボタンがあります。





これらの各モジュレーションのパラメーターは、ハードウェアユニットの MODULATION セクションで制御されます。このセクション内の SELECT ボタンを使用すると、3 種類のモジュレーションをスクロールできます。



変調タイプを選択した後、このセクションの 3 つのパラメーターを調整できます。

波形–正弦波 (SINE)、ランダム波 (RAND)、入力信号エンベロープ制御 (ENV)、または入力レベルトリガー (TRIG) の間の変調波形を決定します。変調ターゲットは、ENV と TRIG の機能を決定します。

速度 – UP または DOWN を 1 回押すと、SPEEDパラメーターにフォーカスが移動し、さらに押すと、値が 1 ステップ移動します。SPEED パラメーターは Hz (サイクル/秒) で表示されます。

モジュレーションターゲットに応じて、ENV または TRIG 波形が選択されている場合、SPEED パラメーターは効果なしから最大効果への変化率を制御します。「 1 」の設定は 1 秒のランプ時間を意味し、「 5 」の設定は ⅕ 秒のランプ時間を意味します。

深さ– UP または DOWN を 1 回押すと、DEPTH パラメーターにフォーカスが移動し、さらに押すと、値が 1 ステップ移動します。DEPTH 値は、最大変調のパーセンテージで表示されます。

SPEED または DEPTH 矢印キーを押すと、最初にそのパラメーターにフォーカスが移動し、緑色の LED が上に点滅し、ディスプレイに現在の値が表示されます。これは、矢印ボタンで値を 1 ステップで変更できることを意味します。また、特定の値を KEYBOARD に入力してから、ENTER キーを押すこともできます。

ノート- 遅延のフィードバックパラメータもモジュレーション効果に影響を与える可能性があります。

これらの各パラメーターは、特定の効果に応じてサウンドに異なる影響を

与えます。 各タイプのモジュレーションとその調整方法を確認しましょう

6.2.1 動的効果

[MODULATION] セクションで、[SELECT] ボタンを使用して、ダイナミクス (DYN) パラメーターを強調表示します。MOD ボタンが中央の PAN / DYN セクションにかみ合っていることを確認します。

ダッキング遅延

ダッキング遅延は、入力信号を使用して遅延信号を減衰させ、再生中にエコーを「邪魔にならない」状態に保ちますが、再生のギャップ中にエコーテールが聞こえるようにします。

TRIG が選択されるまで WAVEFORM ボタンを押します。これにより、ダッキング効果が選択されます。

DEPTH UP または DOWN ボタンを押して、フォーカスをこのパラメーターに移します。緑色の LED が上に点滅し、現在の値が表示されます。このパラメーターは、遅延信号をどれだけ減衰させるかを制御します。少量の減衰の値を下げるか、値を上げて、再生中にエフェクトがほとんど聞こえないようにします。

SPEED UP または DOWN ボタンを押して、フォーカスをこのパラメーターに移します。これは、減衰が解放される速度を制御します。値を小さくすると、再生を停止してからエコーが通常の音量に戻るまでの時間が長くなります。値を大きくすると、エコーがすばやく入ります。

ゲート遅延

PAN / DYN セクションの REVERSE ボタンを押すと、ダッキング効果がゲートディレイになります。このように設定すると、効果は演奏中にのみ聞こえ、停止すると減衰します。



トレモロ効果

SINE または RAND が選択されるまで、WAVEFORM ボタンを押します。これにより、直接信号と遅延信号の両方の音量が減衰され、一定の速度で上下に最大音量に戻るトレモロ効果が作成されます (SINEのみ)。SPEEDパラメーターを使用して特定のレートを調整し、DEPTHを使用して減衰量を調整します。

JP

REVERSE ボタンを押すと、直接信号と遅延信号が互いに反対方向に減衰し、遅延が最大減衰している間に直接音量が最大になり、その逆も同様です。

コンプレッサー/エキスパンダー効果

ENV が選択されるまで WAVEFORM ボタンを押します。これにより、ダッキング効果に似た圧縮されたディレイサウンドが生成されますが、目立たなくなり、フィードバックは影響を受けません。

REVERSE ボタンを押すと、直接信号と遅延信号に影響を与えるエキスパンダー効果が生成されます。初期のトランジェントは減衰され、「アタックキル」効果を生み出します。SPEED パラメーターはボリュームが通常のレベルに膨らむ速さを制御し、DEPTH パラメーターは初期減衰の量を制御します

6.2.2 コーラス/フランジャー/ダブリングエフェクト

MODULATION セクションで、SELECT ボタンを使用して DELAY パラメーターを強調表示します。MOD ボタンが DELAY セクションにあることを確認します。

非常に短い遅延時間を設定することで、いくつかのタイプのモジュレーションを実現できます。遅延時間は、エコーとしてではなく、追加の同期された音声として聞こえます。いくつかの一般的な遅延とフィードバックレベルの概要を以下に示します。

遅延時間	効果	MODボタン	フィードバック設定	ミックス
0-10	フランジャー	オン	非常に高い	50
5-50	コーラス	オン	わずかまたはなし	50
20-80	複線	オン	わずかまたはなし	50
100アップ	遅延コーラス	オン	リピート用に設定	50

コーラス

コーラス効果は、直接信号を変調された遅延信号とミキシングすることで実現されます。その結果、ピッチと時間のわずかな変動で、複数の楽器が一斉に演奏しているように聞こえるマルチボイスのキャラクターができあがります。

DELAY セクションで、時間を非常に短く設定します–約 20～25 ミリ秒。フィードバックセクションで、レベルを 0 まで下げます。

WAVEFORM ボタンを押して、コーラスエフェクトで非常に一般的な SINE を選択します。その他の波形については、この章の後半で説明します。

MODULATION セクションで、DELAYが選択されていることを確認し、DEPTH パラメーターを調整してエフェクトの強度を制御します。値が高いほど、デチューンが深くなります。SPEED パラメーターを調整して、変調の速度を制御します。

MIX コントロールを 99 に設定すると、純粋なビブラート効果が生成され、直接信号なしでピッチが上下に変調されて 2 つのボイスが作成されることに注意してください。

フランジャー

フランジャーエフェクトは、波のようなスイープするモジュレーションを生成し、厚みのある、しばしばサイケデリックなサウンドを作成します。これは、いくつかの調整を加えて、コーラス効果と同様に機能します。

FEEDBACK セクションで、フィードバックレベルパラメーターを 50 に上げます。フィードバック設定が高いほど、フランジャー効果がより共鳴します。90 未満の設定をお勧めします。

従来のジェットフランジャーエフェクトの場合、 DELAY 時間を約 2 ミリ秒に設定します。

MODULATION セクションで、 SPEED パラメーターを非常に低く設定して、スイープを遅くしてみてください。DEPTH パラメータを増やすと、スイープが広くなります。

その他の波形

SINE オプションを使用すると、認識可能なコーラスとフランジャーサウンドが得られますが、さまざまな波形で実現できる他のエフェクトもあります。RAND 設定では、SINE の連続形式ではなく、ランダムなスイープが生成されます。

ENV 設定は、入力レベルで開始および停止するランプを生成します。より高い SPEED 設定と中程度の DEPTH 設定が必要になる場合があります。

TRIG を選択すると、入力信号が停止するたびに停止するサインスイープが作成されます。これにより、スイープを音楽と同期させることができます。

自動倍増

このエフェクトは、2 人の同一のプレーヤー/シンガーが同じパートを同時に演奏しているような印象を与える特定のタイプのコーラスです。20～80 ミリ秒前後の低い遅延時間、低いフィードバック設定、わずかなピッチシフト、わずかな音量変調、およびパン位置の変更を試してください。この効果を得るには、3 つの MOD ボタンすべてをアクティブにする必要があります。

デフォルトのプリセット 95 と 97、およびこの効果の良い例なので、これらの設定から始めるのが賢明です。

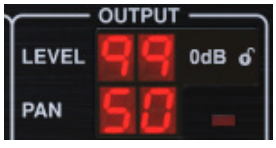
6.2.3 パン効果

MODULATION セクションで、SELECT ボタンを使用して PAN パラメーターを強調表示します。MOD ボタンが中央の PAN / DYN セクションにかみ合っていることを確認します。

パン効果は、直接信号、遅延信号、またはその両方に適用できます。これは、PAN / DYN セクションの DELAY / DIRECT ボタンを使用して選択します。を繰り返し押すと、4 つの可能な設定が切り替わります。パン効果を聞くには、LED の 1 つを点灯させる必要があります。



固定パン位置は、出力セクションの PAN コントロールを使用してプラグインウィンドウで調整できます。DELAY / DIRECT を選択すると、50 の設定が中央に配置され、0 が右端、99 が左端になり、遅延信号が逆になります。



PAN MOD ボタンを押すと、DELAY / DIRECT ボタンの設定に応じて、一方のスピーカーからもう一方のスピーカーにオーディオが伝わるのが聞こえます。

MODULATION セクションで、 SINE 波形を選択し、SPEED パラメーターを使用して、オーディオが前後にパンされる速度を調整します。

DEPTH パラメーターは、パン効果が左から右、そして後ろにドリフトする幅を調整します。 99 に設定すると、どちらかの側に完全にパンしますが、50 に設定すると、方向を再び変更する前に半分しか移動しません。

ENV 波形を選択すると、信号がしきい値を下回るたびに静的パン位置が切り替わります。効果のために DELAY 信号と DIRECT 信号の両方が選択されている場合、それらはサイドをトレードします。このサウンドには、かな

JP

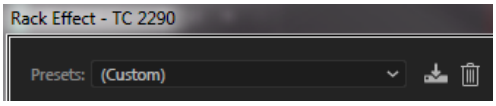
り速い SPEED 設定と高い DEPTH 設定がより効果的です。

TC2290 は、プラグインウィンドウの MIX コントロールを 0 に設定することによってのみ、直接信号のオートパンナーとして使用できます。

7. プリセット

TC2290 は、デフォルトと署名のプリセットのコレクションに加えて、独自のカスタム設定を作成して保存するオプションを提供します。

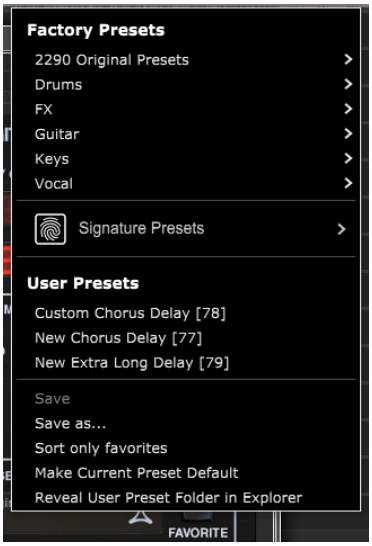
ほとんどの DAW には、すべてのプラグインに表示される組み込みのプリセット機能があります。これは、プラグインウィンドウの上部にあることがよくあります。



機能が制限されており、保存したプリセットを他の DAW に簡単に転送できないため、プリセットを保存する主な方法としてこれを使用することはお勧めしません。代わりに、ウィンドウの下部に含まれているプリセットセクションを使用することをお勧めします。



PRESET ウィンドウをシングルクリックすると、いくつかのプリセット関連オプションを含むメニューが表示されます。ライブラリからファクトリまたはユーザープリセットを呼び出すか、現在のプリセットを保存するか、[名前を付けて保存] オプションを使用して新しいユーザープリセットを作成します。



プリセットメニューは、ファクトリープリセットセクションとユーザープリセットセクションに分かれています。

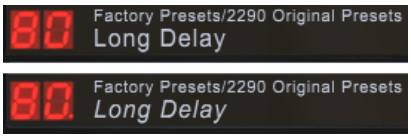
ファクトリープリセットはプラグインに組み込まれており、上書きすることはできません。したがって、ファクトリープリセットが変更され、変更を保持したい場合は、ユーザープリセットとして保存する必要があります。ユーザープリセットは、必要に応じて編集および整理できます。

工場出荷時のプリセットセクションには、署名プリセットと呼ばれるサブセクションが含まれています。 署名プリセットは、世界クラスのアーティストやレコーディングエンジニアによって設計されたカスタムメイドのプリセットです。署名プリセットのライブラリは絶えず拡張されており、[設定]メニューにアクセスして [署名プリセット] を選択すると、ダウンロードできる可能性のあるその他の署名プリセットを確認できます。

Factory プリセットと Signature プリセットには、プリセット名の横に表示される固有のアイコンがあります。



デフォルトまたは保存されたプリセットを呼び出すと、名前は図のようにプレーンテキストで表示されます。ただし、そのプリセットのパラメーターのいずれかを変更するとすぐに、テキストが斜体に変わり、偏差を示します。これは、ハードウェアユニットおよびプラグインウィンドウのプリセット番号の後に赤い点で示されます。[プリセット] ウィンドウをクリックしてから [保存] オプションを選択するか、そのプリセットから移動するときに変更を破棄できます。

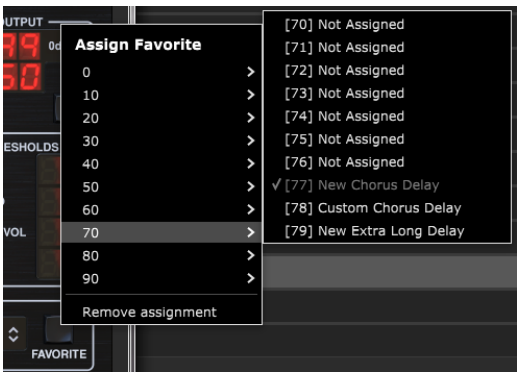


プリセットは、 PRESET / SPEC セクションのハードウェアユニットから呼び出すこともできます



プリセットの上矢印ボタンまたは下矢印ボタンを押すと、フォーカスがそのセクションに移動し、緑色の LED が点滅します。これで、UP ボタンと DOWN ボタンを押して、一度に 1 スロットずつプリセットをスクロールしたり、KEYBOARD を使用して特定のプリセット番号を入力してから ENTER ボタンを押したりすることができます。

お気に入りのプリセット



独自のプリセットを作成すると、[プリセット] メニューからアクセスできるようになりますが、お気に入りとして設定した場合にのみ、ハードウェアユニットの 100 個のプリセットのリストに表示されます。これは、お気に入りメニューを使用してプリセットにお気に入りのスロット番号を割り当てることによって行われます。[お気に入り] ボタンをクリックしてから、10 の最初の 8 つのバンクの 1 つを選択します (プリセット 80～100がデフォルトであり、保存することはできません) 。カスタムプリセットの 1 つをお気に入りのスロットに割り当ててから、プリセットを保存します。

JP

プリセットにお気に入りのスロット番号が割り当てられている場合：

- プリセットは、ハードウェアユニットで呼び出すことができる 100 個のプリセットの一部です。

- リコール時にハードウェアユニットにお気に入りの番号が表示されます

- 他のプリセットを同じお気に入りのスロット番号に割り当てることができないように、お気に入りの番号がロックされます。これは、問題の番号をグレー表示することで [お気に入り] メニューに表示されます。

- プリセットメニューを閲覧すると、お気に入りの番号が括弧内に表示されます



お気に入りメニューの「割り当ての削除」機能を選択し、プリセットを保存することで、お気に入りの割り当てを削除できます。

お気に入りのみを並べ替える

プリセットメニューの[お気に入りのみを並べ替える]オプションを使用すると、ハードウェアユニットの上下の矢印でお気に入りリストのみをスクロールできます。それ以外の場合、スクロールはすべてのプリセットを通過します。

現在のプリセットをデフォルトにする

[現在のプリセットをデフォルトにする] を選択すると、プラグインの新しいインスタンスが作成されるたびにこのプリセットが表示されます。

エクスプローラーでユーザープリセットフォルダーを表示する

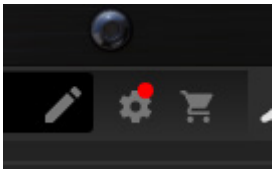
プリセットの名前を変更するには、[エクスプローラーでユーザープリセットフォルダーを表示する] を選択し、ファイル名を変更します。これにより、ユーザープリセットが保存されている Finder (Mac) または Explorer (PC) ウィンドウが開きます。プリセットの名前を変更したり、プリセットを削除、コピー、貼り付けしたりできます。これにより、このフォルダに新しいプリセットを貼り付けるだけで、オンラインで他のユーザーとプリセットを共有できます。

8. ソフトウェアの更新

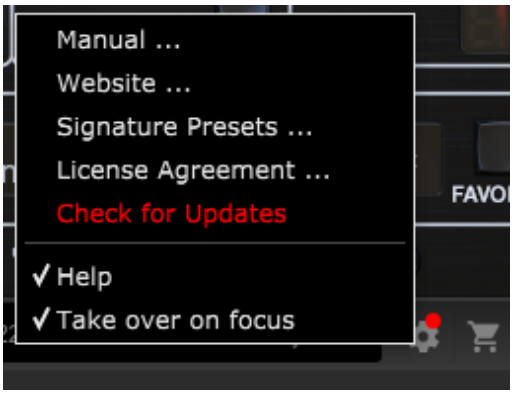
新しい機能を追加し、パフォーマンスを向上させるために、ソフトウェアの新しいバージョンがリリースされる場合があります。アップデートはプラグインから直接検出でき、Web サイトからダウンロードした後にインストールできます。プラグインのインストールについては、第 2 章を参照してください。

ハードウェアユニットのファームウェアは、各プラグインのアップデートに含まれます。

更新メニュー内で [更新を自動的に確認する] オプションがオンになっている場合、新しいプラグインが使用可能になると、設定アイコンに赤い点が表示されます。



歯車のアイコンをクリックし、[更新の確認] を選択してスキャンを実行します。



8.3 ハードウェアユニットのソフトウェアアップデート (オプション

新しいプラグインをインストールすると、システムはファームウェアの不一致を検出し、歯車アイコンの小さな赤い点を介して更新の必要性を示します。

「xxxx にアップグレード」フィールドをクリックして、更新を開始します。プラグインに進行状況が表示され、ハードウェアユニットのフィードバックLEDが点滅します。



JP

9. 仕様

音

最大 遅延時間	9999 MS
サンプルレート	44.1、48、88.2、96、176.4、192 kHz

ソフトウェアサポート

オペレーティングシステム	Mac OS X 10.13 Sierra 以降、Windows 7 以降
運転手	追加のドライバーは必要ありません。標準の USB HID ドライバーを使用します
プラグインフォーマット	AAX ネイティブ、Audio Units、VST2.4、VST3。64 少し

USB接続（DT バージョン）

タイプ	USB 2.0、タイプ micro-B

パワー（DTバージョン）

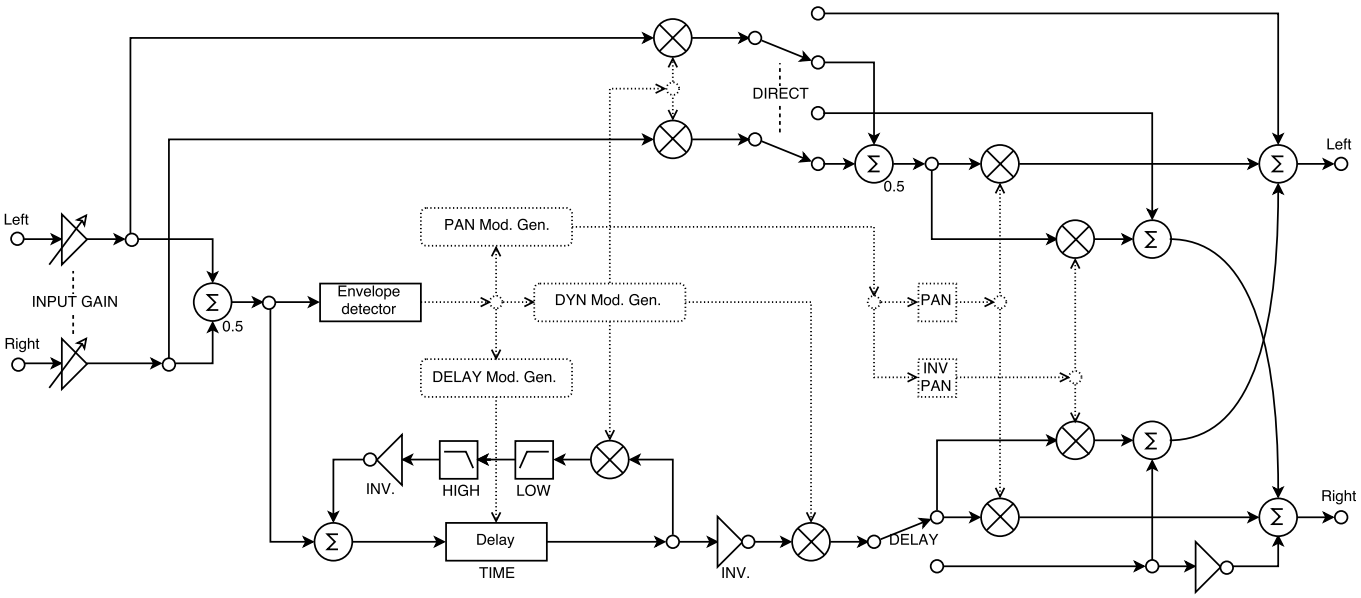
電源	USB バス駆動
消費電力	最大 2.5 W

物理（DTバージョン）

寸法 (H x W x D)	43 x 109 x 135 mm (1.7 x 4.3 x 5.3")
重さ	0.4 kg (0.88 ポンド)

JP

10. シグナルフロー図



DELAY Mod. Control

INPUT:
DELAY ON

MODULATION:
SPEED
DEPTH
WAVEFORM

DELAY:
MOD.

SPEC:
9 - INV DLY MOD
10 - DLY MOD Threshold
8 - DEEP MOD

PAN Mod. Control

INPUT:
DELAY ON

OUTPUT VOLUMES:
PAN

MODULATION:
SPEED
DEPTH
WAVEFORM

PAN:
MOD.

SPEC:
11 - PAN MOD Threshold

DYN Mod. Control

INPUT:
DELAY ON

MODULATION:
SPEED
DEPTH
WAVEFORM

DYN:
MOD.
REVERSE

SPEC:
12 - DYN DLY VOL
13 - DYN FB



TC ICON SERIES

tc electronic